

天満屋倉敷店 2015年11月の画廊予定

◎4階美術画廊

会 期	内 容
10/30(金)～11/5(木)	<p>仁城義勝 木の器展</p> <p>分業が通常の漆器作りの中、仁城義勝先生の作る器は木地製作から漆塗りまで一貫して一人で行っています。漆塗りに関しては、木を守り器を丈夫にする為に保護膜として漆を3回ほど塗るだけ。1本の丸太を最後まで使い切るため様々な模様の木目が透けて見える風合いも特徴です。お椀や皿、鉢など約100点を出品いたします。</p>
11/6(金)～11/12(木)	<p>色絵九谷 河島洋作陶展</p> <p>九谷焼の伝統意匠の一つ、吉田屋窯の魅力に惹かれ、伝統を踏まえつつも独自の感性と釉薬の美しさ、造形、卓越した技術で自分自身の「吉田屋様式」を確立し、国内外で高い評価を得ておられる河島洋先生の倉敷天満屋初個展です。成形から上絵まで一貫して制作し、鮮やかな色絵の世界を創り出しています。本展では、花瓶、大皿、香炉、茶盤など約50点を出品いたします。</p>
11/13(金)～11/19(木)	<p>亀禄窯 眞清水福山 作陶展</p> <p>京都四代眞清水藏六の次男として生まれ、父・藏六に師事した後、独立開窯し作陶されている眞清水福山先生の新作展です。お茶道具を中心にその技を磨くなか、2009年には大徳寺管長より「亀禄窯」の窯名を、同年瑞峯院より「福山」の雅号を賜るなど、ますますご活躍され、多くの数寄者の支持を得ておられます。今展では、水指、茶盤、香合などのお茶道具から、花入、銘々皿など約70点を出品いたします。</p>
11/20(金)～11/26(木)	<p>木口敬三 一光と風の心象風景一</p> <p>多彩な技法と高い精神性で、独自の抽象表現の世界を展開する木口敬三先生の個展です。武蔵野美術大学を首席で卒業後、フランス政府私費留学試験に合格しパリに留学。帰国後は倉敷を拠点に制作活動を行い、数々の国際版画展に入賞・入選されています。瞬間のきらめきやその光と色の輝きを捉えた魅力あふれるパステル画と銅版画の新作約30点を出品いたします。</p>
11/27(金)～12/3(木)	<p>岡京香 万華灯展</p> <p>福岡市在住の灯りアーティストである岡京香先生のオリジナル照明陶器<万華灯>。万華鏡のような灯りという発想から生まれた作品は、桜や雪月花など自然をモチーフの一つ一つ丁寧に作られています。作品から放たれる暖かみのある灯りが織りなす文様は、床や壁、天井に映り輝き幻想的な世界が広がります。ストレス社会の中での癒しアイテムとしておすすめの万華灯約50点を出品いたします。</p>

営業時間 10:00～19:30

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ
 天満屋倉敷店 販売計画
 TEL 086-426-2205
 FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。